

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和2年度は、コロナ禍の影響が大きく各町内会や自治会、老人会等の活動、民生委員や地区社協の活動ともに全体的に自粛傾向であった。またケアプラザの自主事業や地域での認知症予防カフェ含めたつどいの場も自粛傾向であったため、1年通じて地域の高齢者への影響は非常に大きかった1年であった。コロナの影響は今年度も大きく変化することはないかと思うので、ケアプラザとして何がどういう形でできるのかを明確にして共有し、行動していくことが求められている年度だと実感している。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5職種会議の継続と合わせケースによっては居宅や通所スタッフも、地域ケア会議に参加したり、地域支援に関する研修を事業所内で企画し実施していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地区内の町内会自治会に対しては、比較的、関心が高いと思われる防災についてケアプラ職員と情報共有したり、HUG(避難所運営ゲーム)を一つのきっかけとして企画しゲームを通して円滑なコミュニケーションをとることができる関係性を構築する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民生委員・ケアマネジャー連絡会を開催し、関係機関や事業所間において、まずは顔の見える関係性づくりを行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	計画相談(相談支援専門員)も障がい分野の相談を受ける一分野として位置付け外部にも周知していく。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント